

令和4年度第3回瀬戸市環境衛生審議会議事録		
日 時	令和5年3月20日(月) 午後2時から午後4時まで	
場 所	瀬戸市役所 東庁舎4階 大会議室	
出席者	委 員	出席者：小林会長、藤井副会長、伊藤委員、服部委員、 加藤委員、古謝委員、大倉委員 (Web) 欠席者：萱岡委員
	事務局	藤井市民生活部長 (環境課) 加藤課長、渡邊課長補佐、堀田専門員、小林主任
	計画策定 受託者	(中日本建設コンサルタント(株)) 山田、佐伯、尾崎
傍聴者	0名	
1 開会		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 渡邊課長補佐から会議成立の報告 ・ 藤井市民生活部長から挨拶 		
会 長	<p>本日も次期瀬戸市一般廃棄物処理基本計画に関してご意見をいただきたいと思います。</p> <p>私事ではありますが、来週台湾に行き、紙おむつリサイクルについて講演を行います。講演では、瀬戸市のデータも紹介しながら紙おむつリサイクルについてお話をしたいと考えています。</p> <p>また現在、台湾のごみの有効活用について、事業化も含めて活動されている台湾の環境行政の中核となる方をお招きしております。その方とも情報交換をしながら今後のごみの減量、ごみの有効活用についても考えていきたいと思っています。</p>	
2 議事		
報告事項(1) 令和3、4年度燃えるごみ組成調査の結果について		
事務局より資料1に基づき説明した。		
会 長	<p>委員の皆様、ご質問等あればよろしくお願ひします。</p> <p>このデータは、燃えるごみの中の何を減量できているかを考えるための基礎になると思います。</p>	
委 員	<p>令和3年度から令和4年度にかけて生ごみの割合が減っておらず割合も大きいことから、生ごみの減量に向けての対策が大きな課題であると感じました。</p> <p>また、令和4年10月よりプラスチック製容器包装の分別収集を開始していますが、まだ認知されていないため、市民への認知度や理解度向上のための活動も課題であると感じました。</p>	
会 長	<p>手つかず食品、食べ残しなどの割合は大きいので、減量に向けて考えていかなければならないと思います。</p>	

	私から、その他の可燃ごみで割合が9%とありますが、主に含まれるものが何か教えていただきたいです。
事務局	皮、ゴム、木、紙おむつ以外の物すべてをその他の可燃ごみとしております。
会 長	具体的にはどのようなものがあるのか教えていただきたいです。
事務局	その他の可燃ごみとしては、たばこ、コーヒーフィルター、女性用生理用品、ペットシート、ペットの糞などになります。
事務局から市議会の報告	
事務局より市議会の報告を行った。	
会 長	報告事項2の前に市議会の報告について、ご質問等あればよろしくお願 いします。 市民からの陳情、請願があったとのことですが、誰がどのように管理し ていくことになるのでしょうか。
事務局	議会では、採択か不採択かという形で取り扱いをしていきます。委員会 では不採択という形で話が進んでいます。
会 長	議会から有料化に関してご意見があるのでしょうか。
事務局	様々な党からご意見があります。
会 長	このようなご意見は、パブリックコメントの際にも出てくると思いま す。
事務局	ご意見が出てくることもあるかと思われます。
会 長	出てくるご意見は、理解が進まない点からのご意見かもしれませんし、 情報が不足しているのかもしれない。そのため何らかの形で対話の機会 を持つ必要があると思います。
事務局	ごみ処理費用の有料化制度の導入について、昨年のプラスチック製容器 包装の分別開始のときと同様に丁寧に説明できたらよいと考えています。
会 長	説明が不足しておりました。例えば収集回数、収集箇所を増やした場 合、コストがどのくらいかかってしまい、市民にはどれくらいの負担がか かるというところまで説明する必要があるのではないかと思います。
事務局	コストも含めて、精査した上で何らかの改善策を作っていきたいと思 います。改善策だけでなく負担面に関して説明していきたいと思っていま す。
会 長	ホームページで情報発信をするのが良いと思います。市民が分かりやす く、そして安心できるような情報をもって対応することを心がけると良い と思います。
委 員	主婦の目線で意見を述べますと、ちょっとした情報で動かされてしま うことがあると思われます。正しい情報をしっかり周知していただきたい と思います。

会 長	他にはいかがでしょうか。
委 員	自治会を通じて、注意する点に気をつけながらしっかり行っていきたいと思います。
会 長	よろしく申し上げます。 サントリーグループとのペットボトルの水平リサイクルの協定について、財源に対してプラスなのかマイナスなのか教えていただきたいです。
事務局	今回のサントリーとの協定は愛知県内で容器包装リサイクル協会と取引する価格として、入札価格の1番高い価格を維持して引き取っていただく形となっています。現在、入札価格が上がっていることから、財源的にはプラスになると考えています。
会 長	ありがとうございます。瀬戸市としても優位であり、循環型社会の維持の面でも有利であることが分かれば市民も安心できると思います。このような情報は大事だと思います。 ペットボトルの引き取りの条件などはあったのでしょうか。
事務局	基本的に容器包装リサイクル協会の条件と同じで、ラベルを剥がし、キャップを取った状態でベールにし、お渡しする形になります。
会 長	中間処理を行うのでベールで出す必要があるということですね。
事務局	そのとおりです。一定の品質でないと、取引する価格が変わってしまうと思われれます。
会 長	ありがとうございます。 分別する中で、ラベルが付いていたり、中に何かが入っていたりすることがあればその点も良くしていくような施策を次の施策に入れることも考える必要があると思った次第です。
2 議事	
報告事項（2）一般廃棄物処理基本計画の目標値及び実績値の比較について	
事務局より資料2に基づき説明した。	
会 長	ご説明ありがとうございました。それではご質問等あればご発言ください。 半田市の家庭系ごみの有料化はいつから実施したのでしょうか。
事務局	令和3年の4月より家庭系ごみの有料化を実施しています。
会 長	半田市の目標年度が令和8年度なので、目標年度まであと4年あるということですね。
事務局	半田市の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源等除く）の実績値を確認したところ、令和2年度で約646g/人・日だったものが、令和3年度で470.9g/人・日まで減少しておりました。家庭系ごみの有料化を実施したことで、約180g/人・日ほど減量できたということが確認できております。

会 長	確認ですが、令和2年度の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源等除く）実績値が646g/人・日であったということで、資料に記載されているのは令和3年度の実績値ということですね。
事務局	そのとおりです。
会 長	1年で470.9g/人・日まで減少したということですね。
事務局	補足ですが、令和元年度の1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源等除く）実績値は578g/人・日であり、有料化実施年度の令和2年度の実績が646g/人・日となります。
会 長	補足説明ありがとうございます。 令和元年度から令和3年度の2年間で100g/人・日ほど減少したということですね。瀬戸市も半田市と同じ考え方をすると、2年間で100g/人・日ほどは減量するだろうということですね。 この減量には、プラスチック製容器包装の減量の量は入っていないのもう少し減量が見込める可能性があるということでしょうか。
事務局	そのとおりです。
会 長	わかりました。ありがとうございます。 他にはいかがでしょうか。
委 員	瀬戸市の事業系ごみは、目標値と実績値に大きな乖離が見られます。何か原因があれば教えていただきたいです。
事務局	令和3年度に商工会議所にご協力をいただき、市内の事業所にごみの減量、分別等に関するチラシを配布させていただきましたが、事業系ごみを減量することができていないのが現状でございます。事業系ごみの減量に向けた施策が展開しきれていないのが原因であると考えます。
会 長	ありがとうございます。今行っている施策を今後も継続して、事業者の方にご協力いただけるようにして欲しいと思います。 他にはいかがでしょうか。
委 員	令和4年10月より開始されたプラスチック製容器包装の収集について、現時点でどれぐらいの資源化ができているのか、また現時点から推測した場合、1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源等除く）はどれぐらいになるのか教えていただきたいです。
事務局	これまでのトータルではなく単月になりますが、第2回の審議会で資料として、示させていただいております。 10月では、令和3年度が546g/人・日、令和4年度が534g/人・日でした。続いて11月は、令和3年度が577g/人・日、令和4年度が508g/人・日、12月は、令和3年度が547g/人・日、令和4年度が509g/人・日でした。
委 員	ご回答ありがとうございます。 令和4年度の11月、12月の数値が約510g/人・日であり、目標値

	483g/人・日と比較すると約30g/人・日の差があるため、もう少し努力しなければいけないということですね。
事務局	そのとおりです。現行の目標値を達成するとなると、あと20g程減らさないといけないということになると思います。
委員	現行の目標値について、どのような考えで設定されたのか教えていただきたいです。
事務局	ごみ減量のための施策を実行するとともに、資源物の収集量の増加などを試算し、積み上げたものを目標値としております。
委員	最終処分量の実績を資料で確認すると、目標値は達成しているように見受けられますが、総ごみ排出量の実績値を見ると目標値を大幅に上回っています。この原因について教えていただきたいです。また、最終処分量の目標と実績を見ると、1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（資源等除く）目標値は厳しい目標値と感じます。厳しくした理由があれば教えていただきたいです。
事務局	最終処分量は、晴丘センターで処理し、減容した量となります。そのため、総ごみ排出量と最終処分量の関係性の把握についてはなかなか難しいと考えております。
委員	ありがとうございます。 総ごみ排出量と最終処分量の関係性が難しいことは理解できました。
事務局	補足ですが、総ごみ排出量は、家庭から出るごみと事業所から出るごみの総量となり、資源等を含んだ量になります。
委員	ありがとうございます。 総ごみ排出量には事業系ごみが含まれているのですね。事業系ごみが意外と大きなウェイトを示しているのかもしれない。
会長	次回の審議会のときに現行計画の設定の考え方について説明していただきたいと思います。
3 議事	
協議事項（3）令和5年度瀬戸市一般廃棄物処理実施計画（案）について	
事務局より資料3に基づき説明した。	
会長	只今の説明に関してご質問、ご意見ある方はよろしくお願いします。
委員	事業系ごみについて、自宅兼事業所のところが市内に多くあり、そのようなところは家庭系ごみとして出されていることがあると収集業者の方から聞いたことがあります。このように事業所に対し、事業系ごみとして出すように今後周知していく必要があると感じました。
会長	ありがとうございます。事業系ごみについて、私も認識不足のところがありました。私は以前から事業系ごみの分別ができていないかチェックして、資源に回せるものは資源として活用することを周知する必要があると思っています。他にはいかがでしょうか。

委員	<p>剪定枝・草・竹のチップ、堆肥化について、チップ、堆肥化されたものは市民が使えるものなのか教えていただきたいです。</p> <p>また、羽毛布団について資源化の方法の記載はありませんが、今後の計画等あれば教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>剪定枝・草・竹のチップ、堆肥化については、再利用できる再生業者に引き渡し、チップ・堆肥化され、再利用される形になりますので、市民が使えるものではありません。</p> <p>羽毛布団については、資源化の方法を含め最終調整中であり、年度当初の一般廃棄物処理実施計画の告示に間にあわないため、記載をしていません。</p> <p>羽毛布団のリサイクル方法としては、再生事業者が羽毛を取り出し、それを再利用することを想定しております。なお、こちらも、市民が使えるものではありません。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>剪定枝・草・竹を再生業者に引き渡す際の処理費用等はどのようになっているのでしょうか。</p> <p>羽毛布団については、ペットボトルの再生リサイクルのイメージで、古くなった羽毛布団を新しい羽毛布団としてリサイクルをするという認識でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>処理費用については、収集運搬に係る費用となります。</p> <p>羽毛布団のリサイクルについては、布団から布団などへのリサイクルが予定されています。</p>
会長	<p>一般廃棄物の排出抑制及び資源化のための方策の順番はこれでよろしいでしょうか。先ほどの剪定枝のお話は3番目にありますが、重要だと考えているということですね。</p>
事務局	<p>令和5年度では主要な方策として掲げております。</p>
会長	<p>分かりました。皆さまいかがでしょうか。</p>
委員	<p>剪定枝・草・竹について、庭木だけでなく草もたくさん出てくるので、草の処理をしっかりとっていただければと思います。</p>
会長	<p>それぞれの量はどれぐらいでしょうか。</p>
事務局	<p>推定数量としては、剪定枝・草・竹は230t、羽毛布団は1t以下の0.6tとなっております。どちらも資源化をすることを目標としているため、並べて記載をしておりますが、量で見ると明らかに違いがあるため、記載方法についてご意見がある場合は検討したいと思っています。</p>
会長	<p>市民から強い要望があり、令和5年度はこれにしますというのは問題ないと思います。</p>
委員	<p>羽毛布団だけではなく布団については、可燃ごみとして処理していると思いますが、なぜ羽毛布団のみ資源化をすると記載されているのでしょうか。</p>

	か。
事務局	普通の布団のリサイクルは困難であり、羽毛布団であればリサイクルをすることが可能であるため、羽毛布団の資源化と記載をしています。
会長	布団も全て綿であればリサイクルをすることが可能ですが、化学繊維が主流なため難しいのです。重量は少ないが、かさばる羽毛布団を入れていることは、問題ないと思います。他にはいかがでしょうか。
副会長	先ほど剪定枝の見込み量が680tだったものが234tに減少したと説明がありましたが、どのような背景があったのか教えていただきたいです。
事務局	以前は、瀬戸市から排出されるもの全てを計上していましたが、実際に資源物として排出される量を精査し、修正いたしました。
副会長	680tから234tを差し引いた量は、燃えるごみに入ってしまったという見込みということですね。
事務局	そのとおりです。
会長	最終処分量については、尾張東部衛生組合の最終処分場と愛知臨海環境整備センターで処理をしていると思いますが、尾張東部衛生組合の最終処分場の残容量は当面の間は余裕があるということでしょうか。
事務局	愛知臨海環境整備センターに引き取って貰っていることもあり、最終処分場は延命化しており、今後約30年は使用できると考えられております。
会長	他にはいかがでしょうか。 ご意見が無ければ令和5年度瀬戸市一般廃棄物処理実施計画を提案どおり承認したいと思います。
3 議事	
協議事項(4) 次期瀬戸市一般廃棄物処理基本計画に係る施策の検討について	
事務局より資料4に基づき説明した。	
会長	只今の説明に関してご質問、ご意見ある方はよろしくお願い致します。
委員	<p>ごみを減らすための方法をもう少し詳しく市民に説明する必要があるという意見がごみ減量推進会議で出ました。例えば、生ごみ出すときはどのようにした方が良いとか、食品を余分に買いすぎないとか、料理を作りすぎないとか、賞味期限、消費期限の早いものから購入しましょうというような啓発チラシを事業所に掲示するとか、リサイクルできる場所を市が提供する等していただければありがたいと思います。また子どもたちへの環境啓発も徹底的に行っていく必要があると感じました。さらに、高齢者の方のために集積所を戸別収集にしてほしいという要望もありました。</p> <p>施策として市が挙げるものは難しい内容に見えてしまうと思うので、市民目線で、誰でもできるように具体的な方法を記載していただけるとあり</p>

	<p>がたいと思います。</p> <p>目標値については、具体的にあとどれくらい減らせば目標値を達成することができる、何をどれくらい減らさなければならないということを明記した啓発ポスターを募集すればよいのではないかと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>自分たちでできることを具体的に示すという視点は重要だと思います。是非この方法で検討したいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>他にはいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>目標値について、一番重視すべき目標値というものが設定できていないと思いました。ごみの総量を目標値とするのか、最終処分量を目標値とするのか、最終的なゴールがどこになるのか疑問に感じました。個人的には尾張東部衛生組合の新しい施設の処理能力との兼ね合いが問題と感じています。</p> <p>私の家では、可燃ごみが減っている一方で、プラスチックのごみが大幅に増えています。プラスチックもごみであるので、資源を分別して資源循環するだけでなく、ペットボトルを減らすためにマイボトルを使うなど、そのあたりの一体感のある目標がないと市民が一致団結してごみの減量に取り組むことができないのではないかと感じました。</p> <p>他委員のおっしゃっていた生ごみの減量を行うことが、一番総ごみ量の減少につながるのではないかと考えております。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。現行の目標値を設定したときに初めて知りましたが、国の目標では、資源ごみを含むすべてのごみを減らしてくださいとなっています。しかし、自治体の立場からすると、実際処理する量や、最終処分量を減らさなければならない。さらに、できる限り資源循環も行わなければならない。しかし、資源循環にはコストがかかってしまうという、このような構図があります。</p> <p>実感からすると、資源化を進めて焼却処理量や最終処分量を減らすことは重要ですが、そこには少し乖離があると思います。目標値の比較表を見てもたくさん数字があり、どれを見れば良いか分からないという意見も分かります。行政からするとどのように考えるのかは難しいところがあると思いますが、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>今おっしゃられたように、晴丘センターの処理能力を超えてはいけないのは当然の話であると思います。それを見据えて、尾張東部衛生組合、瀬戸市、尾張旭市、長久手市が同時に基本計画を作成しておりますが、まだ組合、2市との打合せはできておりませんので、これからすり合わせを行った上で目標値の設定を行っていきたいと思っています。</p>
会 長	<p>分かりました。他にはいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>私も目標数値が分かりづらかったですので、市民目線での分かりや</p>

	<p>すい目標を示していただければと思います。</p> <p>委員からの施策の提案だけでもかなりの事例が出ていると感じました。前回の審議会の際に市民からの意見も集めようと思っているというお話があったと思いますが、その点について、ここに記載のないような有益なアイデアが出てくるのではないかと思ったのですが、今後、どのように進めようとしているのでしょうか。</p>
事務局	<p>4月の広報せとに、市民へのアイデア募集を記載する予定です。応募いただいたアイデアは、市民の方が実際に行った内容やその効果を取りまとめて紹介したいと思っています。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>広報せとで募集をするということですが、単発ですと見逃してしまう人が出てしまうと思うので、継続して意見を募集するような形にすればよいと思うのですが、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>広報せと以外にも、市のホームページにも掲載し、市役所環境課の窓口や資源リサイクルセンターの窓口にもチラシを置くようにしたいと思っています。期間としては、4月の中旬から6月の末まで意見募集を行う予定です。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>資源リサイクルセンターや市役所のような市民が触れられるところに掲示があると非常にいいなと思いました。</p>
会長	<p>資料に記載のある施策の検討、委員の皆様からの提案を全て実現したら、ごみがどのくらい減るのか、何gになります。という数値はなかなか難しい話かと思います。</p> <p>現行の目標値についても、どうするのかという話になりましたが、まずは新しく目標値をどのように決めるのかについて議論を進めることとなりますので、そのようにお考えいただきたいと思います。</p> <p>通常は統計的に推移を見て、10年後はどうなるのかという数値を出しますが、どこかで頭打ちの数字となるため、そこからどのように目標値を決めるのか議論をすると、かなり厳しい議論になると思われまので、そのようなことも頭に入れた上で意見交換をしていきたいと思ひます。</p> <p>例えば、資料にごみの処理方法にメタン発酵とありますが、これは私が提案したものになります。これは、生ごみを発酵させると出てくるメタンガスを燃料にし、発電を行うというものです。このように生ごみから電力が取れるのであれば減らさなくてもよいのではないかという考えが成り立つと思うのです。また、プラスチックも燃やせば電力が取れます。ごみを減らすべきであるとは思ひますが、資源化の面でどれを減らすべきかという違う視点があると思ひます。</p>

	<p>私は、一般ごみはエネルギーに変えることができることから、市が持っている資源だと思っており、これをうまく活用したいと思っています。我慢して減量するだけではなく、集めることでうまく活用できるのであればそれで良いと思います。様々な意見があると思いますので、是非、議論に挙げていただければと思います。</p> <p>今、メタン発酵については内部で検討を進めておりますので、次回ではそのような情報を付け加えてお知らせしたいと思っています。</p> <p>まずは、組成調査の結果からどの項目を減らしていくのかという視点でご意見をもう少し具体的にいただければと思います。</p>
委員	<p>会長のおっしゃるとおり、ごみは資源だということについて最近よく考えるようになってきました。リデュースもリユースもリサイクルもできないような産業廃棄物にならざるを得ない廃材を、新たな商品に生まれ変わらせる企業が最近増えてきていると調べている中で知りました。例えば、車のタイヤをテーブルにするとか、車のレザーシートを小さいポーチにするとか、瀬戸市にある企業の力を借りながら利益を生み出せるような仕組みができると面白いと思いました。他にも剪定枝などをチップにするだけでなく、燃料となる薪のような形として販売することや、先ほどの生ごみから出るメタンガスに転換することも面白いアイデアだと思いました。</p> <p>このようなアイデアの中からできるもの、できないものの判断をどのように行うのかお考えがあれば教えていただきたいです。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この件については、誰がどのように判断をするかは決めておりませんので、宿題とさせていただきます。</p> <p>中日本建設コンサルタントさんほどこまで行ってもらえるのでしょうか。</p>
事務局 (コンサル)	<p>基本的に案をつくることは考えていますが、行政の作る計画ですので、市と調整をしながら進めていきたいと思っています。今回いただいた意見も取り入れるべきと考えますが、他の事例や、ごみの専門分野からの考え方で精査し、提案する形になると思っています。しっかりとすり合わせを行い計画という形にまとめていければと思っています。</p>
会長	<p>是非よろしくお願いします。他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>事業系食品廃棄物の飼料化は私が提案したのですが、すでに飼料化リサイクルは行っているのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>一部の大手企業では行っていますが、市内全域で広がっているものではないので、いないということはないと考えます。</p>
副会長	<p>承知いたしました。ありがとうございます。</p> <p>関連の工場か企業か分かりませんが瀬戸市にも事務局があったと記憶しておりましたので、その延長で提案をしました。</p>

会 長	<p>事業を立ち上げなくても、瀬戸市にあるものを活用してもらえればそれでよいと思います。</p> <p>愛知県では水アブの幼虫の餌として活用するという事例で、あいち環境賞の銀賞として登録されましたね。</p> <p>あと、表にはありませんが、プラスチック製容器包装の話ですが、嵩が高いため、容器を圧縮して保管できるようなものがあると分別しやすくなるのではないかと思いますね。置く場所がないから可燃ごみとして出している方もいると思いますので、心理上の不安を取り除くことも必要と思います。</p>
委 員	<p>事業系ごみの減量化について、他市で進んでいる事例があれば次回以降の審議会でご説明していただけるとありがたいです。</p>
事務局	<p>承知いたしました。資料を集めまして、ご報告させていただきたいと思います。</p>
会 長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
副会長	<p>資料の小牧市の実績について、事業系ごみが多いのですが、最終処分量は少ないところが気になりました。数値の見方と合わせて、小牧市の事業系について参考となる事例であれば教えていただきたいです。</p>
事務局	<p>小牧市の最終処分量についてですが、焼却施設の方式が熔融炉となり、晴丘センターのストーカー炉と異なるため、最終処分量に違いが出ていると考えられます。</p> <p>小牧市の事業系ごみについては、事業系の資源ごみの量まで詳細に把握していることが考えられます。次回までに資料として提供できるような情報収集をしたいと思います。</p>
副会長	<p>よろしくお願いします。</p>
会 長	<p>今回の協議事項は以上となります。</p> <p>委員からいただいた意見を基に資料を作成いただき、次回も活発な協議ができればと思います。</p>
4 その他	
事務局	<p>令和4年度に予定していました本会議は本日で終了となります。ありがとうございました。来年度の第1回審議会ですが、後日において日程調整表をお送りさせていただきますので、回答をよろしくお願いします。</p>
会 長	<p>最後にご発言ございましたら、お願いします。よろしいでしょうか。</p>
5 閉会	
会 長	<p>これを持ちまして本日の会議を終了いたします。どうもありがとうございました。</p>

上記のとおり議事録を作成し、会長は記名・押印する

令和 年 月 日

会長

印